

< ##html:content_type## >

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.362 2021.11.12

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
11月7日(日曜日)放送「特別委員会だより2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や主要会派代表者のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、11月7日(日曜日)に放送した「特別委員会だより2」の内容をお伝えします。

司会進行は、テレビ埼玉の荒木優里アナウンサーです。



[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

INDEX



県議会広報

テレビ番組「こんにちは県議会です」
「特別委員会だより2」

- ・ 経済・雇用対策特別委員会
小川真一郎委員長
- ・ 危機管理・大規模災害対策特別委員会
新井一徳委員長
- ・ 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会
武内政文委員長
- ・ 決算特別委員会
齊藤邦明委員長



議事堂の花

生け花のご紹介

県議会広報

【こんにちは県議会です「特別委員会だより2」】

経済・雇用対策特別委員会 小川真一郎委員長

〈経済・雇用対策特別委員会〉

経済・雇用対策特別委員会は、中小企業の振興、先端産業の推進、企業誘致および働き方改革の推進を含めた雇用に関する総合的対策について審査を行います。

—中小企業の振興について、お考えをお聞かせください。—

委員長 新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、感染防止対策と両立しながら、感染症の影響を受けている中小企業等が事業を継続するための支援を行っていくことが重要だと考えています。また、少子高齢化による生産年齢人口の減少やデジタル技術の活用など、経済・雇用をめぐる環境は大きく変化しています。ウイズコロナ、ポストコロナを見据え、時代の変化に対応した取り組みを推進することも不可欠だと思います。



—具体的には、どのような取り組みですか。—

委員長 新型コロナウイルス感染拡大によって、中小企業のデジタル化に対する意識が高まっていると言われていています。デジタル化により、生産性の向上やビジネスモデルの変革、働き方改革の推進などが期待されます。ただ、人材面や資金面で、中小企業のデジタル化には課題を抱えている状況にあります。今後も持続的な経済成長を導くため、中小企業や小規模事業者に対するデジタル化に向けた支援を強化してまいります。

—雇用についてはいかがですか。—

委員長 新型コロナウイルス感染拡大により、雇用情勢にも影響が出ています。就業支援の強化や県内中小企業の人材確保の支援などを進めることは急務です。また、テレワークの普及など、働き方改革の推進や多様な働き手が活躍できる場を広げるための取り組みを進めてまいります。

—企業誘致についてはいかがでしょうか。—

委員長 本県は高速道路網や鉄道網が非常に発達した、まさに東日本の交通の要衝です。さらに、大きな災害が比較的少ないなど、企業活動に有利な条件が揃っています。これまでも戦略的に企業誘致を進め、1,000件を超える実績を挙げてまいりました。企業誘致は、産業の振興や雇用の確保のみならず、若年層の地元への定着など、地域の振興に大きな効果があると考えています。

—今後の活動についてのお考えをお聞かせください。—

委員長 経済・雇用情勢をめぐる大きな変化を転機と捉え、県内経済の活性化、発展に向けた施策を果敢に進めていくべきだと考えます。今後も積極的な議論をしてまいります。

[▲トップへ](#)

危機管理・大規模災害対策特別委員会 新井一徳委員長

〈危機管理・大規模災害対策特別委員会〉

危機管理・大規模災害対策特別委員会は、大規模災害などが発生した際の応急対策、またその発生に備えた防災対策、災害支援に関する総合的対策について審査します。

—大規模災害への対策について、お考えをお聞かせください。—

委員長 毎年のように日本各地で集中豪雨など異常気象による災害が発生しており、県内でも大きな被害が発生しています。また、先月、本県で最大震度5強の地震が発生しました。今後30年以内に70%の確率でマグニチュード7クラスの大きな地震が発生するとも予測されています。これらへの十分な対策が必要です。さらに、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えていません。このような中、あらゆる事態に備え、県民の皆さんの安全を守るための対策を講じていく必要があると考えています。



—災害時の感染症対策は重要ですね。—

委員長 そのとおりです。県では昨年、避難所における新型コロナウイルス感染症防止対策を取りまとめたガイドラインを策定しています。これに基づき、避難所の設置主体となる市町村とともに対策を進めてまいります。また、平時同様、感染症対策には一人ひとりのご協力が不可欠です。災害時の感染症対策にご協力をお願いいたします。

—災害への備えも必要ですね。—

委員長 そうですね。災害から自分の命を守るためには、日頃からの備えがとても重要です。家具の固定など家の安全対策をする、水や食料を備蓄しておく、災害用伝言サービスの体験をする、といった「自助」の取り組みをしっかりと根付かせていくことが大切だと考えています。

—「共助」についてはいかがでしょうか。—

委員長 一刻を争う災害対応において、被害を減らすためには地域住民が一致協力して取り組むことが必要です。地域防災の中心である自主防災組織の育成・強化を、積極的に支援していくべきだと思います。また、火災や災害時に重要な役割を担う消防団員が全国的に減少し、地域防災力の低下が懸念されています。地域の実情に応じた防災力を維持・向上させるため市町村への効果的な支援策を講じていくべきだと考えています。

—今後の活動についてお考えをお聞かせください。—

委員長 県民の皆さんの安心・安全な暮らしを守ることが私たちの使命であると考えております。過去に発生した災害を教訓として、危機管理と防災体制のさらなる強化に委員一同全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 武内政文委員長

〈人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会〉

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は、人材育成、教育改革、文化およびスポーツの振興、ならびに東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に関する総合的対策について審査を行います。

—人材育成についてのお考えをお聞かせください。—

委員長 将来を担う子どもたちが自分の手で未来を切り開く力を身に着けることができるようにすることが重要です。グローバル化やデジタル化の進展といった激しく変化する時代の中で、主体的に問題解決するための思考力、判断力、そして表現力の育成を図っていくべきだと考えています。



—国際社会で活躍するためには、ほかにどのようなことが必要でしょうか。—

委員長 外国語教育や異文化への理解促進はもちろんのこと、まずは日本の伝統や文化、歴史を正しく理解することが大切です。日本人としての誇りを持って、世界に羽ばたいてほしいと思っています。

—学校教育においてもデジタル化が進んでいますね。—

委員長 そうですね。ICTの活用が日常のものとなっている今、学校教育の場でもICT環境の整備は必要不可欠です。具体的には、1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することです。また、これまでの教育実践とICTを最適に融合させる「GIGAスクール構想」を加速させることで、子どもたち一人ひとりの個性に対応した学びにつなげていきたいと考えています。

—話は変わりますが、東京オリンピック・パラリンピックが今年、開催されましたね。—

委員長 コロナ禍での開催となりましたが、何とか終わることができ、ご尽力いただいた皆さまに感謝申し上げたいと思います。大舞台で活躍する選手の姿は私たちに勇気や感動をもたらしてくれました。これを一過性のイベントで終わらせることなく、地域におけるスポーツ活動を根付かせ、そして発展させることで県全体のスポーツ振興につなげていくことが大切だと思っています。

—大会後の取り組みが大切だということですね。—

委員長 そのとおりです。また、今後も文化や芸術を世界に発信することも重要です。コロナ禍で海外から本県に直接足を運んでもらうのは難しい状況ではありますが、多言語での動画配信など工夫を凝らして取り組んでいくべきだと思います。

—今後の活動についてお聞かせください。—

委員長 大きく変化する時代の中で、明るく豊かな埼玉を築くためには「人づくり」が何より重要だと考えます。委員会として今後も積極的な議論を重ねてまいります。

[▲トップへ](#)

決算特別委員会 齊藤邦明委員長

〈決算特別委員会〉

決算特別委員会は、知事から、決算関係の議案が議会に提出されると設置される委員会です。一般会計や特別会計など、県全体の決算について、審査を行います。

—決算特別委員会は、現在、審査中とのことですが。—

委員長 9月定例会に提出され継続審査となった、一般会計と特別会計、公営企業会計の決算の認定について審査をしております。



—どういった観点から審査をされているのですか。—

委員長 予算の執行が関係する法令に基づいて、適正かつ効率的に行われたかどうか。施策や事業の目的がどの程度達成され、県民サービスや福祉の向上にどのように貢献したか、などの視点から慎重に審査を行っています。

—令和2年度の一般会計の決算状況は、どうだったのでしょうか。—

委員長 新型コロナウイルス感染症対策にかかる費用の増加により、歳入、歳出ともに前年度を大幅に上回り、県政史上最大規模となりました。

—新型コロナウイルスの影響を大きく受けたのですね。—

委員長 そうなんです。歳入総額は2兆2,409億2,300万円で、前年度から21.7%増加しました。主な要因は、国庫支出金が新型コロナウイルス感染症対策のため、前年比197.6%増と大幅に増加したことです。歳入のおよそ3割を占める県税収入は、消費税率が10%に引き上げられたことなどにより、3年ぶりに増収となりました。

—歳出についてはいかがですか。—

委員長 歳出の総額は2兆2,017億6,900万円で、前年度から20.2%増加しました。中でも民生費や衛生費、商工費などが新型コロナウイルス感染症対策のために大幅に増加しています。医療機関等への病床確保料や設備整備補助、飲食店などの事業者への感染防止対策協力金などにかかる費用などがこれに当たります。

—コロナ対策に多くの支出が投じられたのですね。—

委員長 そうなんです。こうした費用が効率的・効果的に支出されていたのかをチェックすることが、私たちに課せられた大きな役割だと考えています。

—委員会での審査結果は、どのようにまとめていかれるのですか。—

委員長 12月定例会で報告を行うことになっています。各委員の意見を踏まえ、改善や検討を要する事項を指摘した内容になるものと考えています。

[▲トップへ](#)

❁ 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



- ◆展示期間
10月4日～10月8日
- ◆作者
創美流 高橋 樵園様
- ◆花材
三ツ又、ユーカリ、吾亦紅(ワレモコウ)、りんどう、
菊3種、ネイビー

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈創美流 高橋 樵園様〉

Q: 生け花のテーマを教えてください。

A: 夏と秋の融合がこの作品のテーマです。夏の名残を残すために、白い三ツ又を使用しました。白だけだと寒々しいので、ネイビーと合わせて生けました。

Q: 赤や紫の花の色が秋らしさを感じさせて素敵ですね。

A: 3色の菊の花とりんどうを併せて秋を感じさせる色合いとしています。他の花の間から顔をのぞかせる吾亦紅が奥行きを出しており、議事堂の空間に合う作品になっています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

